

研究推進委員長及び執筆者紹介（論文掲載順）

野津 隆志（のつ たかし） 委員長

兵庫県立大学名誉教授 博士（教育学）

智雲ボランティア活動研究所代表

URL <http://notsulabo.main.jp/>

専門

比較教育学、教育人類学—アジアの子どもの教育と人権に関する研究

著書

『アメリカの教育支援ネットワーク』東信堂 2007年
『タイにおける外国人児童の教育と人権—グローバル教育支援ネットワークの課題』ブックウェイ 2014年
『市民活動概論—ひょうごとアジアのNPO・NGO・ボランティアを学ぶ—』学術研究出版 2015年
『私の赤ちゃんは先生です』学術研究出版 2018年

五百住 満（いおすみ みつる）

元関西学院大学教育学部教授 学校教育学修士

兵庫県人権教育研究協議会会長

公益財団法人兵庫県人権啓発協会評議員

教育行政学、人権教育、教育カリキュラム論、教育方法論

著書（共著）

「教員免許更新制と評価・認定システム」黎明書房（鈴木正幸・加藤幸次・辻村哲夫編著）（2008・11）
「生徒指導・進路指導」学文社（2016・10）
「教育法規・教育行政入門」ミネルヴァ書房（2018・3）
「教職をめざす人のための教育課程論」北大路書房（2019・3）
「兵庫県150周年記念 兵庫県史 全4巻」人権領域執筆 兵庫県（2024・3）

論文

「人権の歴史と同和教育」（兵庫教育文化研究所『こどもと教育』別冊（2011・5））
「兵庫県の外国人児童生徒にかかる現状と課題」（関西学院大学教育学会教育学論究第2号）（2010・12）
「学校における人権教育の在り方の研究」（関西学院大学教育学会教育学論究第2号）（2013・12）
「いじめといのちの教育」（ERP 出版教育 PRO）（2023・2）

田口 奈緒（たぐち なお）

NPO 法人性暴力被害者支援センター・ひょうご理事

県立尼崎総合医療センター産婦人科部長

兵庫県産科婦人科学会理事

ライフワークは「在日外国人の母子保健」「性暴力被害者支援」「性教育」論文

「性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないために」月刊生徒指導 53 (10), 16 - 19, 2023 - 09

「地域の実情に見合ったワンストップ支援センターとは—性暴力被害者支援センターの現状とICT活用の可能性を探る—」フェミニストカウンセリング研究 17, 4 - 23, 2021

「妊娠中のパートナーからの暴力は産科合併症と関連するか？ ケースコントロール研究」日本周産期新生児学会雑誌 57 (2), 282 - 287, 2021

尼崎総合医療センター「『ワンストップ支援センター』の取り組み 総合病院とNPO法人の連携で性暴力被害者を支援」助産雑誌 72 (5), 347-351, 2018-05-25

「性暴力被害とその対応」産婦人科治療 99 (6), 617 - 622, 2009 - 12

川西 悦子（かわにし えつこ）

兵庫県洲本市出身

大学を経て福祉の世界へ

児童養護施設、母子生活支援施設、薬物依存症回復施設、自立援助ホーム等に勤め経験を重ねる。

2021年7月 一般社団法人 若葉を設立 理事長

2022年1月 自立援助ホーム 若葉を開設 施設長

現在 自立援助ホーム 若葉の施設長・自立支援担当職員を兼任

<https://www.wakaba2021.com>